

# 新卒者研修「静脈注射Ⅰ・Ⅱ」 ～基礎から学ぶ静脈注射～

新卒者は、5月27日(月)・28日(火)に、新卒者研修「静脈注射Ⅰ・Ⅱ」を受講しました。薬剤師より「注射剤に関する基礎知識」、業務担当副看護部長より「静脈注射実施の法的解釈の経緯と看護業務の法的位置づけ」、看護職キャリア支援教育担当より「静脈注射の基礎知識と手技」の講義を受けました。その後、事例を用い、研修者同士で翼状針の穿刺、腕モデルを使用した末梢静脈注射(側管注)の演習を行いました。研修者は、静脈注射を安全・確実に実施するためには、正しい薬剤の知識と正確な手技に加え、薬剤投与前後の患者の観察を十分に行うことが重要であると学んでいました。



薬剤投与前後、キョクイファイナルチェックに沿って、声出し指差し確認を意識して行っていました。

輸液ラインに空気の混入がないか、確認を徹底していました。



患者役を体験し、丁寧な説明や声かけが患者の安心感につながると学んでいました。

「点滴の入っているところは痛くありませんか？」など、患者にわかりやすい言葉を用い、患者の苦痛や体調の変化を確認しながら実施していました。



マニュアルを読み上げ、一つ一つ確認しながら、演習に取り組んでいました。



・翼状針の穿刺部位を解剖や患者の安楽を考慮して選択する難しさを実感していました。

・研修者は、教育担当の細やかで丁寧な指導により、講義で得た知識を演習と結び付けながら実施していました。



★新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当